

高知新聞

須崎工業高等学校

GO!GO! ハイスクール

須崎工業高校



ソーラー艇大会V3へ



須崎工業高校は全国で唯一、造船科のある高校です。船の設計や建造を受けるのですが、そんな造船科の注目が集まり、日本を目標としている部活が造船部。太陽光電池のエネルギーをソーラーボートの動力として、2013年、14年の連続優勝して、今年には3連覇を目指します。

「おひ、バッテリーを持って来い」。放課後の建築習習室は毎日、7人の部員が黙々と作業しています。県柳川市で開催される柳川バッテリーを設けるカーボンの電気カッターが主で切ったり、アルミを削いで部品を作ったり、ボート生1人が出陣します。競技は約3、1キロのコースを周る一回りレース。メンバーは3年生の嶋崎、中野、2年生の市、川城の計4人が主で、主に九州や中国四国の企業、学生1人が出陣します。競技は約3、1キロのコースを周る一回りレース。メンバーは3年生の嶋崎、中野、2年生の市、川城の計4人が主で、主に九州や中国四国の企業、学生1人が出陣します。

昨年同様、毎日30キロを走る一回りレース。メンバーは3年生の嶋崎、中野、2年生の市、川城の計4人が主で、主に九州や中国四国の企業、学生1人が出陣します。

5人が昨年の経験者、今年も大いに期待されています。部長の嶋崎さんは1年の時から優勝を味わってきた。面白そうだなと思って、軽いりで入部した。本気で面白かった。しかも船づくりに好きな部員たち。壊れた部材を修理したり、予備の部品を作ったり。地味に見える作業も楽しんでいます。それでこまめに1着のユニフォームは毎日着てくると、毎日30キロやってくる。とてもいい眺めです。

坂道きつיים
 校舎は標高約40mの場所あり、生徒は400m近い坂道を上り下りします。冬でも汗ばみ、「夏はきつיים」。



いい眺め
 なぜか「おんちゃん」と呼ばれている3年生男子おすすめの景色。なるほどしぶい。校舎2階の渡り廊下から須崎湾を眺めました。

ごみも人も
 校舎周辺を清掃。ごみを降ろした荷台は人を乗せて搬送。かなり速かった。

鳥弁食べて県体躍進
 学食で人気メニューの鳥弁とオムライス。ボリュームのある鳥弁を食べ、女子ハンドボール部は県体2位と躍進。

強すぎやろ
 県体で野球部を応援。「強すぎやろ。相手は明徳義塾でした。彼女たちは目撃の選手に最後まで声援を送りました。

創立 / 1941年
 所在地 須崎市多々郷和佐田甲
 生徒数 301人 (男子248人、女子53人)
 学科 機械科、造船科、電気情報科、ユニバーサルデザイン科
 2014年度卒業生の主な進路 就職61人(住友大阪セメント高知工場、新高知重工、今治造船丸亀事業本部、四電エンジニアリング、トヨタ自動車など)。大学、専門学校などへの進学19人(岡山商科大、高知リハビリテーション学院、高知情報ビジネス専門学校など)

元気な生徒、生徒の活躍は

須崎工高の誇り

高知新聞社提供 複製を禁ず